

公益社団法人福岡県精神保健福祉会連合会  
〒812-0046  
福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50  
電話092-292-0560 F A X 092-292-0561  
e-mail: fksr1974@fukuseiren.com  
http://www.fukuseiren.com/  
No. 124 令和8年1月1日



## 新年のご挨拶

公益社団法人福岡県精神保健福祉会連合会

会長 楠橋恭一



あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、役員改選があり引き続き会長の任をお受けいたしました。また、理事・監事にも事業所委員会の皆様にご協力を頂くことになり、世代的にも若返りました。知識と知恵を結集して、福精連の更なる発展と当事者と家族が安心して暮らせる社会の実現を目指して努力していく所存であります。

さて、福精連が重要課題としている医療費助成制度の改善ですが、実現県である奈良県に続き、同じく実現県である愛知県からみんなねつと医療費助成PT委員会座長の木全義治氏を講師に招き、研修を行いました。

現在、重度障がい者医療費支給制度がありますが、精神の対象者は手帳1級所持者のみで、しかも精神科入院は対象外であります。一番多い2級所持者の中にも抗精神薬の副作用で、合併症による精神科以外の治療は、国保の3割負担なので医療費が足りずに治療ができない人や、施設の僅かな工賃を前借りして治療する人さえいます。そういう人には、何とか半額でもいいから助成が出来ないものかと思っています。

また入院費は、限度額認定をしても大きな負担になりますので、入院はできません。家族がいる人でも家族への負担が大きく押し掛かっています。医療費助成制度は、人の命に繋がる制度だと思っております。是非とも医療費で苦しむ人の救済をして欲しいものです。

福精連は、毎年福岡県に要望していますが、実施主体が市町村であるため市町村にも要望していく必要があると思います。そのために、みんなで医療費助成制度を学び、医療費で苦しむ実態を把握しその人たちの声を届けて、制度の改善をお願いしていこうではありませんか。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

## 家族のための相談電話

【相談時間】13時～16時  
月曜日 090-1366-7498  
火曜日 080-3986-1980  
水曜日 080-1729-1950  
木曜日 080-1729-1950  
金曜日 080-1729-1955  
土・日曜日・祝日 9時～16時  
080-1729-1955  
一人で抱えずお電話ください

## 賛助会員加入のお願い

令和7年度の賛助会員の募集を行います。皆様のご協力よろしくお願い致します。

年会費：個人 3,000円  
団体 10,000円

郵便局振込先  
加入名：（公社）福精連  
口座番号：01760-7-84332

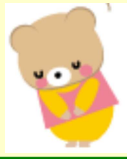
※福精連への賛助会費・寄付金は確定申告の際の寄付金控除の対象になります。

## 行事案内

- 【県センターとの共催研修会】ハイブリッド  
1月16日（金）（詳細は3面下）
- 【第2回 運営委員会】オンライン  
1月23日（金）15時～
- 【家族・職員研修会】  
2月13日（金）
- 【北九州市・障害者の巣立ちを促す地域生活支援プロジェクトチーム主催講演会】  
2月23日（月）10時～12時半  
ウェルとばた2階 多目的ホール  
テーマ「その人が、その人らしい人生を紡いでいくために」  
講師：やきつべの徑 夏莉 郁子氏
- 【第3回 運営委員会】福精連事務局  
3月6日（金）
- 【みんなねつと60周年イベント】  
3月12日（木）ハイブリッド
- 【予算総会・第4回 理事会】  
令和8年3月19日（木）
- ※会場は決まり次第ご連絡いたします



- 福岡県精神科病院協会 様
- 福岡県共同募金会 様
- 株式会社福岡マック 様
- 株式会社ちくしの郷 様



- 〈団体会員〉
- ・ ところどころクリニック
- ・ 医療法人 要会 かなめクリニック
- ・ 医療法人 陽山会 丸野クリニック
- ・ 医療法人 みらい 筑紫野病院
- ・ おか医院

## 令和7年度賛助会員の皆様

下記へつづく

## 令和7年度賛助会員の皆様 つづき

- 〈団体会員〉（敬称略・順不同）
- ・ 医療法人同仁会 乙金病院
- ・ 医療法人社団桜珠会 可也病院
- ・ 医療法人成康会 堤小倉病院
- ・ 寿防災工業㈱
- ・ （一社）福岡県障がい者スポーツ協会
- ・ 株式会社 ちくしの郷・匠
- ・ 福岡県精神保健福祉協会
- ・ 医療法人社団松和会 門司松ヶ枝病院家族会「みのり会」
- ・ 社会福祉法人 福岡あけぼの会 サンサンはかた
- ・ 社会福祉法人 桜園
- ・ 一般社団法人ちはやACT
- ・ 医療法人緑心会 福岡保養院
- ・ 一般社団法人Q-ACCT
- ・ 島手そうめん販売㈱
- ・ 社会福祉法人ほつと福祉会
- ・ 油山病院 家族会 あけぼの会
- ・ 医療法人富松記念会 三池病院
- ・ 医療法人紫陽 ここからクリニック
- ・ 医療法人和光会 一本松すずかけ病院
- ・ 医療法人信和会大牟田保養院
- ・ 医療法人 敬称略・順不同
- 〈個人会員〉（敬称略・順不同）
- ・ 一木 猛子
- ・ 石河 雄二
- ・ 白石 俊彦
- ・ 津村 俊彦
- ・ 戸部 俊彦
- ・ 阿部 俊彦
- ・ 徳久 俊彦
- ・ 大平 俊彦
- ・ 松本 俊彦
- ・ 渡辺 俊彦
- ・ 富田 俊彦
- ・ 舟越 俊彦
- ・ 浦塚 俊彦
- ・ 木原 俊彦
- ・ 坂栗 俊彦
- ・ 樽橋 俊彦
- ・ 福田 俊彦
- ・ 今村 俊彦
- ・ 齊藤 俊彦
- ・ 川本 俊彦
- ・ 佐伯 俊彦
- ・ 本田 俊彦
- ・ 鈴木 俊彦
- ・ 田川 俊彦
- ・ 犬束 俊彦
- ・ 立山 俊彦
- ・ 森川 俊彦
- ・ 中里 俊彦
- ・ 馬場 俊彦
- ・ 菅野 俊彦
- ・ 下川 俊彦
- ・ 後藤 俊彦
- ・ 小野 俊彦
- ・ 永末 俊彦
- ・ 平山 俊彦
- ・ 野澤 俊彦
- ・ 辻田 俊彦
- ・ 山口 俊彦
- ・ 竹原 俊彦
- ・ 隅谷 俊彦
- ・ 一ノ瀬 俊彦
- ・ 判田 俊彦
- ・ 伊原 俊彦
- ・ 薦津 俊彦
- ・ 廣房 俊彦
- ・ 金房 俊彦
- ・ 山本 俊彦
- ・ 内原 俊彦
- ・ 石田 俊彦
- ・ 永末 俊彦
- ・ 下川 俊彦
- ・ 樋口 俊彦
- ・ 古屋 俊彦
- ・ 乙村 俊彦
- ・ 井上 俊彦
- ・ 田原 俊彦
- ・ 平川 俊彦
- ・ 六反 俊彦
- ・ 重富 俊彦
- ・ 原 俊彦
- ・ 牧 俊彦
- ・ 伊原 俊彦
- ・ 薦津 俊彦
- ・ 廣房 俊彦
- ・ 金房 俊彦
- ・ 山本 俊彦
- ・ 内原 俊彦
- ・ 石田 俊彦
- ・ 永末 俊彦
- ・ 下川 俊彦
- ・ 樋口 俊彦
- ・ 古屋 俊彦
- ・ 乙村 俊彦
- ・ 井上 俊彦
- ・ 田原 俊彦
- ・ 平川 俊彦
- ・ 六反 俊彦
- ・ 重富 俊彦
- ・ 原 俊彦
- ・ 牧 俊彦



【編集】公益社団法人 福岡県精神保健福祉会連合会 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 6F  
【発行】QSK九州障害者定期刊行物協会 〒812-0068 福岡市東区社領1丁目12番4号  
【年会費】3,000円（購読料含む）定価100円



この機関紙【福精連】は、共同募金の配分金によって作成されたものです。



## 第7回福精連大会（10月31日）



10月31日第7回福精連大会が久留米シティプラザで開催されました。来賓には、福岡県こころの健康づくり推進室 室長松田様、障がい福祉課 課長補佐井口様、久留米市健康福祉部 部長川崎様にお越しいただき、「ご挨拶いただきました」。

第一部では、「精神障がいのある人へのアウトリーチが当たり前になる社会」をテーマに、認定特定非営利活動法人スチュデント・サポート・フェイス代表理事の谷口仁史氏に講演いただきました。

講演では、アウトリーチの具体的な手法・実践・事例をはじめ、多職種連携やチームアプローチによる支援体制が紹介され、谷口氏の情熱や広範なネットワーク作りに感銘を受けました。支援の徹底したきめ細やかさ（事前準備や制度外活動の工夫）や行動力に感動した、本人だけでなく家族支援まで取り組まれている点に驚きと感謝が寄せられました。

また、講演を聞き、地域からのアウトリーチの可能性や、多職種連携の重要性を再確認、福岡でも実践したいという意欲が喚起された、と心強い声も聞かれました。他にも、行政を動かす実践的取り組みに感銘を受けた、今後この事業を広めてほしいという期待と応援の声、自身の支援活動に生かしたいという声が多く寄せられました。

第2部では家族会、事業所の事例発表。それぞれ独自の活動や連携の重要性が述べられました。

なおみの会（家族会）の発表からは、家族会と事業所の協働による温かい関係や利用者のニーズに応じた取り組みが紹介され、参加者はその努力と創意工夫に感心されていました。

また、木の香らんど（事業所）の発表では、顔の見える関係作りや施設支援外の協力を得て支援を行うなど様々な工夫が紹介され、参考にしたと参加者の声をいただきました。



## こころの健康づくり大会



11月11日こころの健康づくり大会が久留米シティプラザで開催され、檜橋会長の県知事表彰をはじめ、家族会や事業所スタッフが地

精協表彰を受賞されました。（1面掲載）記念講演では松本俊彦氏が「思春期のメンタルヘルス・リソースカットとオーバードーズの理解と援助」をテーマに、市販薬の入手容易性（ドラッグストアの増加）が若年層の薬物依存やオーバードーズの増加要因になっている（市販薬依存が最も多い）。さらには国内で市販されている一部商品には覚醒剤やアヘンなどの成分が含まれており、海外では販売禁止されている事実も報告され、医療費削減や利便性向上を理由に薬の購入機会を広げる国の政策が、利便性と同時に薬物乱用の社会問題化を招いていると述べられました。

支援の際、まずは雑談を通じて本人のニーズや変化に気づく、変化を急がずにありのままを肯定する姿勢を保ちながら、適切なタイミングで行動変容を促すことが重要だと述べられました。

この他、八女作業所でピアスタッフとして働かれています池田さんが堂々と素晴らしいスピーチをしてくださいました。また、3事業所（久留米はげの実共同作業所、浮羽共同作業所、ちくご作業所あいあい）の物販販売も好評でした。



## あみ全国大会

10月10日（金）～11日（土）に第28回 あみ全国大会が福岡県中小企業振興センターにて開催されました。「家族も丸ごと任せんしゃい！」と題し講演にシンポジウム、分科会と内容盛沢山のとても充実した2日間となりました。

そもそも、あみ（NPO「法人全国精神障害者地域生活支援協議会」は精神障害者のまちでの暮らしを支え、福祉向上を担う様々な人々が結集してできた組織であり、全国の作業所・施設が加盟しています。

施設の方々の研修（大会）で家族をテーマに掲げ、丸ごと任せんしゃいと言っていただけの事が有難く、頼もしく、嬉しい限りです。

家族会運営の作業所からスタートした事業所も法の変化とともに「作業所」「小規模通所授産」「障害福祉サービス」とその名を変え、家族（および家族会）とは切り離された現状が多くみられます。

「サービスを利用する当事者の背景には家族がいて、障害者も、家族も、支援者も、誰もが安心して暮らせる地域が必要！地域づくりを行うのは私達、一人一人」と厚く語ってくださる支援者の皆様の言葉に心が温くなりました。

## スポーツレクリエーション大会

### 福岡ブロック

福岡県の委託事業である「第27回福精連福岡ブロック合同スポーツ大会」が11月19日（水）福岡市障がい者スポーツセンターで開催されました。当日は、8事業所、14チームから、当事者87名、ボランティア29名を含む、総勢116名の参加がありました。



競技種目は、昨年から引き続きポッチャを行いました。今年でポッチャでの合同スポーツ大会は四年目ということもあり、どの試合もレベルの高い手に汗握る熱戦が繰り広げられており、良い投球が決まるたびに、大きな歓声や拍手が起こっていました。

大会結果は、優勝が「コムニカチオ×やさしいかふえ」が予選から優勝決定戦まで全勝で優勝を達成、準優勝、3位は共に「リカバリーセンターふくおか」から、同事業所の2チームが上位入賞を達成しました。

今回の合同スポーツ大会は、来賓の「福岡県人づくり・県民生活部 スポーツ局スポーツ振興課樋田様」、「福岡市保健福祉局障がい者部 障がい企画課 福岡様」、「福岡市精神保健福祉協議会 清成様」、大会の運営指導や協力をして頂いた「福岡市障がい者スポーツセンター指導員様」、審判をして頂いた「福岡市スポーツ推進委員協議会の皆様」、大会実行委員の皆様、福岡ポッチャ協会、看護師さんと沢山のボランティアの皆様のご協力があり、大きな怪我や事故もなく無事に終了することができました。参加者の皆様、関係者の皆様、誠にありがとうございました。



地域活動支援センターピアひがしセンター長 犬東 良太郎

## 北九州ブロック

北九州ブロックは、10月3日（金）に岡垣サンリーアイで、ふうせんバレーボール大会を行いました。今年の運営は、「はまゆう福祉会」が担当しました。当日は、時々雨模様でしたが、幸いに体育館での開催でしたので、天候に関係なく楽しむことができ、5団体116名が参加して、12チームで優勝を目指して競い合いました。風船の動きに合わせて、ゆっくりとした動作で球を回し、アタックの時は、結構鋭い球を返す人もいて、得点すると歓声や拍手が起こり、楽しい中に良い運動になりました。試合は「はまゆうEチーム」が優勝しました。



審判を務めて下さった「日本ふうせんバレーボール協会」の皆様や、準備のお手伝いやスコアボードを担当してくださった「水巻町ボランティア協議会」の皆様には、大変お世話になりました。



はまゆう福祉会センター長 坂栗さつき

## 筑後ブロック

10月17日（金）、八女市総合体育館にて「第28回福精連筑後ブロックふれあい大会」を開催致しました。

今回の大会は、八女地域精神障害者家族会「のぞみ会」、社会福祉法人ハイジ福祉会が大会運営を担当し、当日は「来賓の方、筑後地区の8事業所及び家族会の皆様方、総勢183名の方々にご参加いただきました。種目は、玉入れから始まり、綱引き、けつ圧測定、パン食い競争、作業所・事業所紹介、ウルトラクイズと最後に恒例の炭坑節を参加者全員で踊り、10月とは思えない暑さの中、紅白チーム接戦となり、暑さに負けにくいくらいの活気ある大会となりました。



最後に、ご来賓の皆様、ご後援・ご協力いただきました行政機関・関係機関の皆様、大会実行委員の皆様のご協力により、大きなけがや事故もなく終了することができました。ご参加くださいました皆様に、心より感謝申し上げます。（社福）ハイジ福祉会 施設長 山口隆充

令和7年度  
精神保健福祉家族・支援者  
研修会（福岡県精神保健福祉  
センターとの共催）  
1月16日（金）14時～16時

「精神障がい者と家族の自由な生き方を考える  
～生きづらさからの解放～」

講師：大阪大学高等共創研究員教授 蔭山 正子氏

◎支援者の立場・経験から  
Q-ACTやはた 白石 泰三氏

◎家族会の立場・経験から  
福精連理事 隅谷和生氏

※申込締切1/9

